

2026年6月1日

各 位

株式会社 西 京 銀 行  
取締役頭取 松 岡 健

株式会社ジュエル森脇さまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、株式会社ジュエル森脇（本社：山口県岩国市 代表取締役 森脇 久）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	株式会社ジュエル森脇
所 在 地	山口県岩国市麻里布町 2 丁目 3 番 4 号
代 表 者	森脇 久
SDGs への取組み	婚約指輪や記念日の贈り物など、お客さまの人生の節目を彩るジュエリーや時計をご提案しています。修理やリフォームにも対応し、純正部品がない場合は熟練技工士が代替部品を製作することで、思い出の品を永く・大切に使い続けていただけるよう支えています。 また、自身で選べるキャリア選択制度や、目利きや修理などの専門技術を学べる OJT を通じて技術の継承を図り、誰もが活躍できる職場づくりを進めています。
U R L	<a href="https://jewel-moriwaki-s.main.jp/">https://jewel-moriwaki-s.main.jp/</a>

※ 株式会社ジュエル森脇さまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



# 株式会社ジュエル森脇 SDGs宣言

当社は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2026年6月1日

株式会社ジュエル森脇  
代表取締役 森脇 久

## 当社のSDGsへの貢献

### 想いに寄り添う技術とサービス

婚約指輪や記念日の贈り物など、お客さまの人生の節目を彩るジュエリーや時計をご提案しています。修理やリフォームにも対応し、純正部品がない場合は熟練技士が代替部品を製作することで、思い出の品を永く・大切に使い続けていただけるよう支えています。

#### 【主な取り組み】

- お客さまの想いに寄り添うジュエリー・時計の提案
- 純正部品が入手できない場合でも、熟練技士が代替部品を製作して修理に対応
- 思い出のジュエリーを新たなリングやネックレスにリフォーム



### 環境にやさしい取り組みを日常に

LED照明の導入や電子広告の活用など、日々の業務におけるエネルギー使用の最適化を進め、環境負荷の低減に取り組んでいます。使われなくなった毛皮のコートをベストやバッグに再生するアップサイクルにより、貴重な天然資源に新たな価値を与える取り組みも進めています。

#### 【主な取り組み】

- LED照明の導入や電子広告の活用による環境負荷の低減
- 使われなくなった毛皮のコートをベストやバッグに再生するアップサイクルの推進

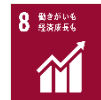


### 一人ひとりが活躍できる職場づくり

自身で選べるキャリア選択制度や、目利きや修理などの専門技術を学べるOJTを通じて技術の継承を図り、誰もが活躍できる職場づくりを進めています。定時退社の奨励や育児休暇の取得推進など、社員が安心して働ける環境整備にも取り組んでいます。

#### 【主な取り組み】

- 得意分野を伸ばせるキャリア選択制度
- ジュエリーの目利きや時計修理など、熟練スタッフによるOJTの実施
- 定時退社の奨励と育児休暇の取得推進



### 地域の活力と交流を支える活動

岩国祭や岩国アーケードのイベントなどへの参加を通じて、まちの賑わいづくりに貢献しています。自社の展示会場をフラワーアレンジメント教室や茶道会などに開放し、地域コミュニティの交流・文化活動の場として活用していただくことで、地域とのつながりを深めています。

#### 【主な取り組み】

- 2階展示会場をフラワーアレンジメント教室や茶道会などへ開放
- 岩国祭や岩国アーケードイベントなど地域行事への参加



#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。